

# Easy & Smoothing

## — 使用上のご注意 —

### ●品質

肋骨・胸骨固定バンド(パドルロックバンド)は医療用材料と認められた製品であることを保証します。

### ●注意事項

この肋骨・胸骨固定バンドのご使用にあたり、以下の注意に従ってください。

○本製品の使用に適合する患者を選択すること。

○本製品は正しい使用法に従い、正確な技術より施術すること。

○無菌状態のクリーンルームで施術すること。

### ●材質

肋骨・胸骨固定バンド(パドルロックバンド)の製造に使用されている材質は高純度ステンレスです。

### ●適応症

胸骨軟骨プラストロンの完全分離後の修復および肋骨間隔の修復。

### ●滅菌

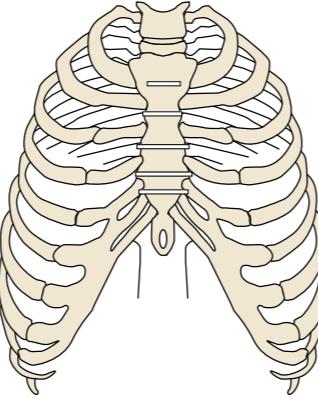
エチレン・オキサイド・ガスにより滅菌密封され、使用時に開封すること。

袋に明記された滅菌期限前に使用すること。使用前に滅菌袋が破損していないことを確かめること。

### 禁 忌

急性および慢性の局所的および全身的感染症がある場合。  
伝染性疾患がある場合。

### ■装着図



**重要** 本製品は1回のみ使用し、再使用しないこと。

## PADL Lock Band

### パドル ロックバンド

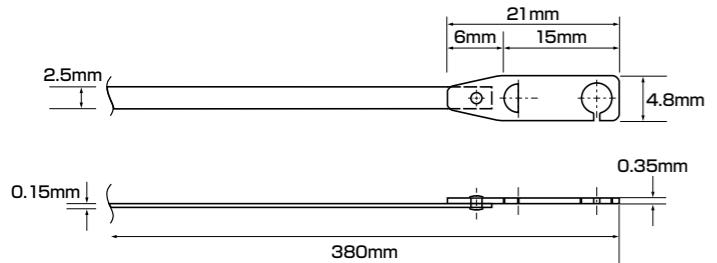
#### 骨固定用バンド

骨固定用金属線(③バンド)  
承認番号:22500BZX00123000



新方式、リターン  
ロックによる簡便&確実、  
そして体に優しい  
胸骨バンド

### パドル ロックバンド仕様



### バンド用専用ツール (別売り)



回し締めクローザー (PBC-1)

材質:ステンレス鋼 減菌 オートクレーブ使用可

届出番号:40B2X10001000100

### ■総供給元

**PADL** 株式会社パドル

福岡 〒810-0029 福岡市中央区平尾浄水町8-6-102  
TEL 092-523-5353 FAX 092-526-0122  
<http://www3.coara.or.jp/~padl>

### ■特別販売企画店

**パラメディック・ジャパン株式会社**  
〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町1-2  
TEL 06-6316-1561 FAX 06-6316-1852

 株式会社パドル

Easy & Smoothing

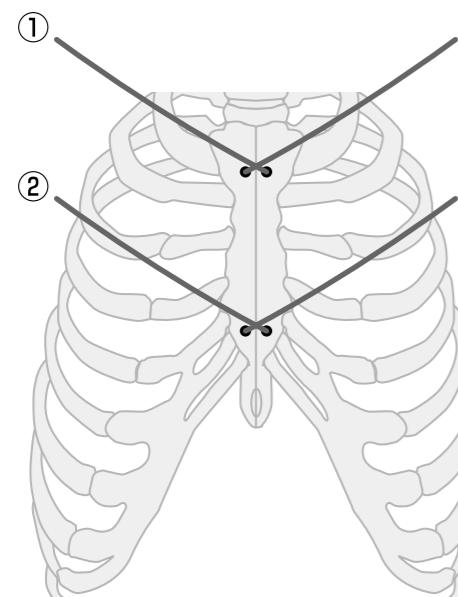
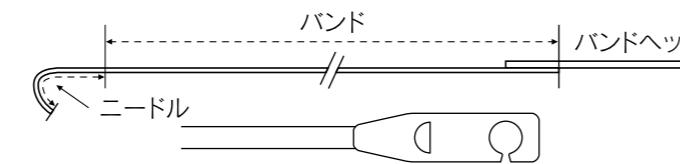
## パドル ロックバンドの特徴



- ①高品位ステンレス鋼使用で高純度。耐腐食性に優れています。
- ②新機構（リターンロック方式）で簡単に素早く確実に固定。
- ③リターンロック方式による結合部分（バックル）の形状は非常に薄くフラットで皮膚に与えるストレスを最小限にします。
- ④骨への侵襲は鋼線の1/10、張力は従来と同等以上。  
したがって、とくに骨粗鬆症や老齢者、再開胸手術時使用には最適です。
- ⑤一枚板のバックルによるリターンロック方式により悪疫質症の危険性が大幅に低下します。

## パドル ロックバンド使用説明書

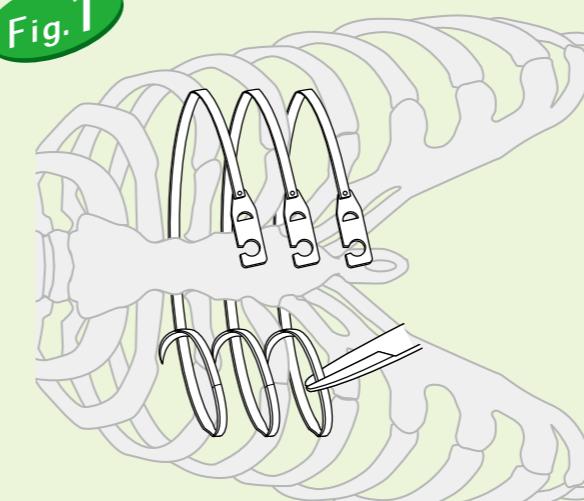
本品はニードル・バンドヘッド・バンドの3つの部分から成り、バンドに装着されたバンドヘッドの穴にバンドを通し折り返すことによりバンドを固定するものである。



- ①と②のようにワイヤーを通し胸骨をワイヤーで引き寄せて下さい。
- 次にバンドを肋間にくぐらせて3~4本使って全体を引き寄せしっかりと締めて下さい。
- バンドの締め方は右図を参照下さい。
- バンドの弛みを調整後①と②のワイヤーを確認され、弛みがあればさらに締めて下さい。
- (注)執刀Dr.がバンドをかけた後、前立ちのDr.がバンドを締めます。

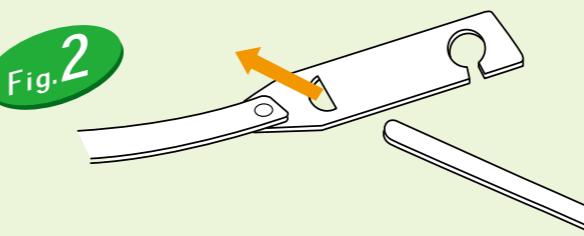
この方法によりバンドも確実に締まり、手術もスムーズに運びます。

Fig.1



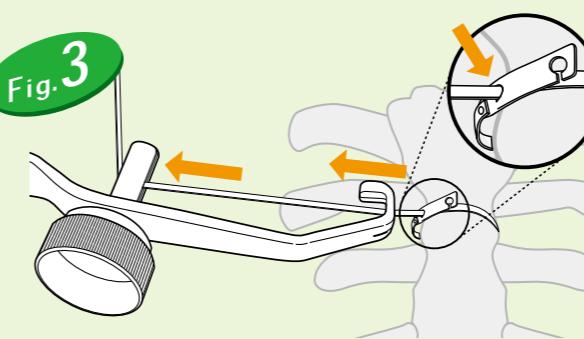
バンドが捩れないように注意しながら持針器（鉗子）を用いてニードルを目的の胸骨の肋間の周囲に必要本数（3~4本）潜らせる。ワイヤーカッター等でニードルをバンドよりそれぞれ切断する。

Fig.2



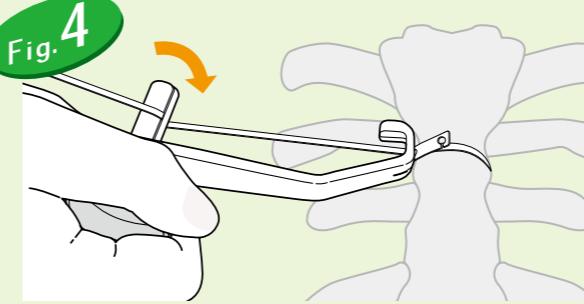
バンドが捩れないよう注意しながら半円状の穴に通す。

Fig.3



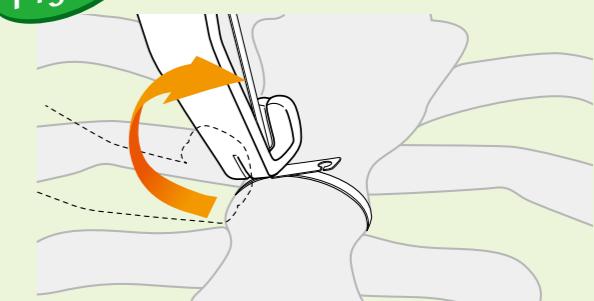
前立ちのドクターがクローザーの先端とボルトの溝のスリットにバンドを通す。

Fig.4



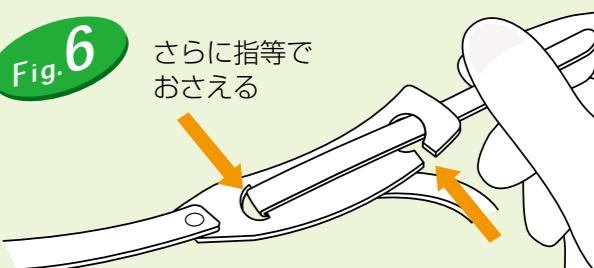
左手でクローザーのシャフトを固定し右手でハンドルを回しバンドをしっかりと締める。

Fig.5



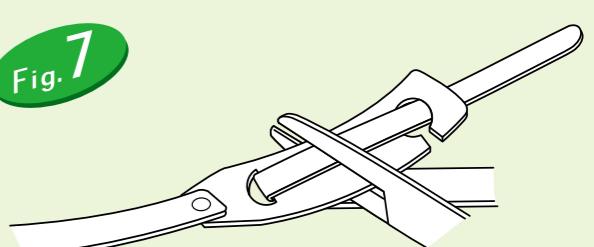
クローザーを反対側へゆっくり倒し、バンドを折り曲げた後にハンドルを少しづつ回してクローザーを抜き取る。

Fig.6



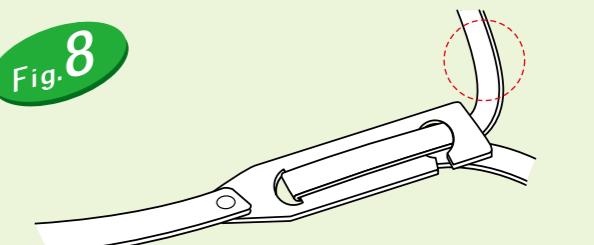
さらに指等でおさえる  
バンドを横のスリットから穴に通す。

Fig.7



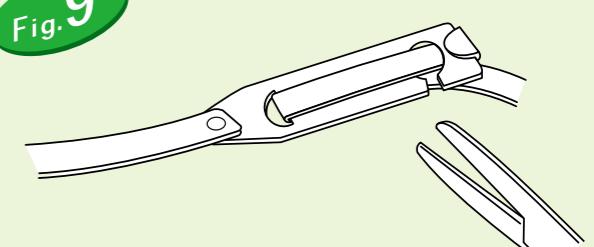
鉗子等で挟み密着させる。

Fig.8



カッターで余分を切断する。

Fig.9



持針器でバンド端部の折り返し部分とバックルを密着させる。